



つながり



「南予地区愛護班活動等リーダー研修会」

10月4日(土)に、伊方町にある亀ヶ池公園キャンプ場で、「南予地区愛護班活動等リーダー研修会」(愛媛県愛護班連絡協議会と愛媛県教育委員会の共催事業)が開催されました。

「愛護班」は、昭和37年に愛媛県で結成された、子どもたちの幸せを願い、様々な青少年健全育成活動を行う地域の大人の組織です。「我が子 人の子 隔てなく」をモットーに半世紀以上にわたり子どもの見守り活動や体験活動、環境整備活動などに取り組んでいます。

今年度のリーダー研修会は、昨年に引き続き「一般社団法人をかしや」の菊間彰氏を講師に迎え、「五感で楽しむ自然時間! ~大人も子どもも夢中になれるひととき~」と題して研修を行いました。

アイスブレイク

講師の動きや声をまねしながら心と体をほぐしていきました。料理する時の動きに合わせて効果音を声に出します。講師の楽しい掛け声に対して「えっ?包丁で物を切る時ってそんな音?」と言いながらも、参加者がどんどん笑顔になっていきました。初めて顔を合わす参加者同士でも自然と会話が生まれました。



お気に入りの植物を探そう!

会場の亀ヶ池公園には、様々な植物が生息しています。黒い画用紙にはさんでお気に入りの植物を観察しました。まずは、公園内を回りお気に入りの植物を探します。いくつかの植物を観察しましたが、このあたりで少しずつ雨が落ち始めました。参加者の皆さんは、雨を気にすることもなく、自然の中で植物の観察を楽しみました。次に、お気に入りの植物を参加者同士で見せ合いです。新しい発見、互いを理解するという、充実した時間になりました。どうしても貝殻を観察したいという子どもの姿に、参加者一同笑顔がもれました。



そっくりさん探し

箱の中にある四つの物を数秒間だけ見て、その四つとそっくりな物をみんなで探しました。箱の中身は何か、大きさ、形、色、などなど共通点を思い出しながら、チームで相談しながら探します。正解発表の時には、大きな歓声が上がりました。

<参加者の声>

- そっくりな植物を探しに行くレクリエーションが楽しかったです。身近な物を注意深く見て、自然に触れる機会になりました。



火起こしタイム！

いよいよ、参加者一番の楽しみ！「火おこし体験」の時間です。ところが、雨がはいよいよ本降りになってきました。しかし、さすがは講師の菊間さん。参加者の前で、火おこしの実演です。雨の日の火おこしのコツを伝授していただき、「雨で火をおこせたらすごい」「自分でもできるかもしれない」参加者にそう思わせてくれました。



雨にも負けず、木を集めて火おこしの挑戦です。木がぬれているので、もちろん簡単には火がおきません。何度もマッチをこすり、枝を組み、時には息を吹きかけ…。そして、ついに火おこし成功第一号が誕生しました。そこからは、多くの参加者が火おこしに成功し、マシュマロやウインナー、するめなど、用意してきた食材をあぶりしました。雨の火おこしです。大変だったからこそ、食材もよりおいしく感じたのではないのでしょうか。

<参加者の声>

- 家では火おこしができないため、広くて安全な場所で実施できて良かったです。
- 近くにある木や枝を使って火を起こしたことがなかったので、よい体験になりました。大人も夢中になれて楽しかったです。
- 最初は、火が全然おきなかったけど、後から火がおきて、マシュマロやウインナーが食べられて楽しかったです。

リスクマネジメント

自然の中で楽しむためには、リスクマネジメントが大切です。これまでとは雰囲気が変わり、皆さん真剣な表情で話を聞いていました。

<参加者の声>

- リスクマネジメントやヒヤリハットを意識することの大切さを学びました。



<研修会に参加しての感想>

- 全体の前に立つ時に、どういう声掛けをすれば全体をまとめられるのかが分かりました。子どもに対する声掛けやリスクマネジメントも勉強になりました。
- 雨天でしたが楽しく参加できました。また機会があれば参加したいです。
- マロさん（講師）自身が終始楽しそうに活動されていたのが印象的でした。これからの自分の活動で役に立つことやためになることがたくさんあって、充実した研修でした。